



平成23年1月28日発行

No.69

社協だより

みふね

社会福祉法人
御船町社会福祉協議会

TEL 282-0785

FAX 282-7895

御船町御船1001-1

ボランティア ハンドブックが完成



御船町ボランティア連絡協議会で作成しました。

御船町のボラ連会員の活動紹介のほか、ボランティアに関する情報が満載です。

ボランティアに関心のある方はぜひご覧下さい。

役場や社協、町内の要所に配布の予定です。

第5回

火の国ボランティアフェスティバル阿蘇

去る10月23日に阿蘇市で開催されたボランティアフェスティバルに御船町ボランティア連絡協議会も参加し、学びと交流を深めました。



長船なおみさんの子育てエピソードを混えたボランティアの講演



ボランティア連絡協議会参加者の方々



現在、御船町ボランティア連絡協議会には21団体1069名と個人8名が登録され、それぞれの団体と個人で活動されています。

環境美化活動

去る11月6日にボランティア連絡協議会とシルバー人材センターと合同で御船町役場周辺の清掃活動を行いました。



川の中の空き缶やごみがみるみるきれいになりました。



御船高校の生徒達もたくさんのごみを拾ってくれました。



平成22年度の共同募金は
みなさまの協力のおかげで
下記のようにになりましたので
ご報告申し上げます。



(期間：10月1日～12月31日)

大口寄付者名 (5千円以上)順不同・敬称略

- 御船町役場職員
- 上益城消防署職員
- 御船町民生児童委員協議会
- 第二明星学園
- 御船町福祉協力員
- 木倉校区社協
- 御船町土木建設組合
- 御船町シルバー人材センター
- ガールスカウト18団
- 小糸整形外科医院
- 泰泉堂牟田医院
- 御船中学校生徒職員
- NOSA職員
- 御船小学校児童
- 高木小学校児童
- 御船小学校職員
- 高木小学校職員
- 上益城地域振興局
保健福祉環境部福祉課
- 御船昭和保育園
- 福寿亭募金箱
- 明和建设
- 入江歯科医院
- はなや
- 江藤歯科医院

- ダスキン熊楠
- 神田外科医院
- 御船共栄
- 藤岡医院
- 大久保耳鼻咽喉科医院
- 麻生交通
- 丸山商店
- 永田工務店
- 御船クリニック
- 第一事務機
- のむら眼科医院
- 御船運送
- 平成音楽大学職員
- 吉田燃料店
- 白石クレーン
- 第一エンジニアリング
- 第一信用金庫御船支店
- 大八運送
- メイン募金箱
- 木倉小学校児童職員
- 華ほたる募金箱
- 小坂小学校児童
- 田中屋
- デオデオ御船店
- 正直屋



高木小学校の子ども達(チラシも手作りしてくれました。)

- 清和自動車
- 御船共栄共乾利用組合
- 川端木工所
- 光栄
- 成瀬でんき
- 希望ヶ丘病院
- 藤井商店
- 滝尾幼稚園職員
- 井本土木建設
- 三協工業
- 三原精機
- 御船ショッピングプラザマイン
- 竹本総合建設

- かんべ歯科医院
- 電設せいざん
- ツルカメ企画事務所
- 山中オート販売
- とらや
- 滝尾小学校児童職員
- 西田政子
- 池田印刷
- 増藤範昭
- 御船町社会福祉協議会



**お寄せいただきました皆様の善意は、全額(5,269,841円)
熊本県共同募金会へ送金致しました。**

赤い羽根の募金

3,540,559円

内 訳	■戸別募金	5038件	2,529,250円	■職域募金	39件	519,171円
	■法人募金	48件	387,000円	■その他の募金	10件	29,971円
	■学校募金	8件	52,339円	■街頭募金	1件	22,828円

歳末たすけあい募金 1,650,600円

共同募金の地域配分金はこのような活動にも活用されています。

赤い羽根自動販売機売上寄付金 78,682円

- 要保護世帯 113,000円
- 在宅介護ねたきり等高齢者見舞い 200,000円
- ふれあい弁当配布 100,000円
(民生委員児童委員協議会)
- お便り活動(ガールスカウト) 20,000円

その他、社協の地域福祉事業として活用されます。



平成22年10月在宅介護者のつどいに参加された方々。1日ゆっくりと過ごしていただきました。

社協会費協力のお願い

御船町社協は昭和60年に社会福祉法人として法人化され、その運営を確保するため会員（会費）制度をとっております。

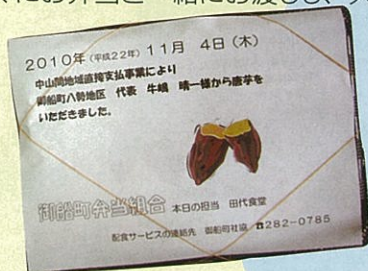
社協の事業は主に寄付金・共同募金地域配分金・会費で実施されております。町民皆様のご理解、ご協力よろしくお願い申し上げます。

社協会費は、年間に
 一般会員……500円
 賛助会員……1,000円
 特別会員……10,000円
 法人会員……30,000円
 となっております。

お礼

中山間地域直接支払事業によりたくさんの唐芋をいただきありがとうございました。

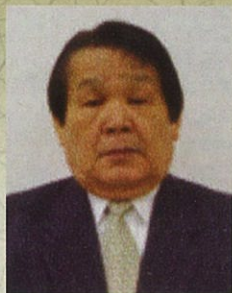
お芋は一人暮らし等高齢者で配食サービスを利用されている方々にお弁当と一緒にお渡しし、大変喜ばれました。



一人暮らし等高齢者への配食サービスを行っています。お申し込みは社協、地域の民生委員さんまでご連絡下さい。

高齢者の死に思う

民生委員・児童委員
 土田 春男



私は民生委員になって3年、やっと慣れたものの、民生委員・児童委員の仕事がいかに多岐に渡っているかを知りました。「相談・支援・調査」など数多くの仕事があり、その中で高齢者家庭の見守り活動は月に1・2回対話をしながら、数件をぶらりと回ることです。一人暮らしをしていると話し相手がほしくなる時もあり、「あがんなっせ」「お茶飲んでいかんね」と若い頃のことやいろんな話をされ、ひとときを過ごすこともあります。

そんなある日、私はひとりの高齢者の死に直面することとなりました。

5日前まで元気に花壇の手入れをしながら話をしてくれたおじいさん。「娘が食材を買って週に1・2回はきてくれる、息子もたまには顔をだす」と私に嬉しそうに語ってくれました。この日は配食サービスの日。週1回の水曜日に夕食を届けることになっていました。「夕食のお弁当持ってきたよ」。いつものように勝手口のドアは開いていました。愛用の自転車は入口の前に置いてありましたが、大きな声で呼んでも返事はありません。声をかけながら弁当をテーブルの上に置き、風呂場、トイレを開けてみました。座敷の襖を

開けると縁側まで見通せ、まだ、4時を過ぎたばかりで夕日が差し込み暖かさを感じます。おじいさんは毛布を敷き、枕をして横になり日向ぼっこで寝ている様子。また、大きな声で呼んでみました。「夕食を持ってきたよ、テーブルの上に置いときます。」返事がありません。近づいて後ろから肩をゆすりました。そこには5日前までお話していたおじいさんの姿ではありませんでした。

配食サービスは御船町社会福祉協議会の事業です。週1回一人暮らし高齢者の見守り活動の一環として、福祉協力員さん達を中心となり町内各地に配達されており、福祉協力員さんの協力の賜です。嫁いでいる娘さんが父親の事を心配され、配食サービスの利用を考えられたのでしょうか。

社協から申請書を取り寄せ、私に申請の手続きをよろしくとの電話がありました。翌日、訪問すると「俺はまだ自分で作って食べれるけん、よかばってん」と言いながら、娘さんが用意した書類を渡してくれました。11月からの利用開始で3回目の配食でした。

今、世の中は核家族社会と言われていました。一人の高齢者が昼寝でもするように83歳の生涯を閉じられたことに直面し、民生委員として多くのことを考えさせられました。一人では何もできないことを……

『向こう三軒両隣り』の言葉があるように高齢化社会では地域での心のつながりを大切にしてお互いが見守り合い、声をかけ合いながら安心して暮らしていけるような地域作りが必要ではないでしょうか。